

メサフレンドシップ (代表 川瀬 由紀子)

実施日	平成19年11月6日(火)	時間	午前10時30分～午後12時
実施場所	茨城県国際交流協会研修室	対象/人数	20名
担当者	根本 久美子	ファシリテーター	-
講師	アンバー・チャン(オーストラリア・県国際交流員)		

活動内容

・今回の国際理解の講座は、茨城県国際課の国際交流員のアンバー・チャンさんをお迎えして開催しました。

アンバーさんは、オーストラリア出身ですが、台湾で生まれ、15歳で伯父夫婦のいるブリスベンに移住したということで、今回の講座では、台湾とオーストラリアの両国について、パワーポイントを用いながら、丁寧に紹介してくださいました。

移民の国オーストラリアは、語学学習のプログラムが多彩で、アンバーさんは、英語と日本語を同時に勉強し始めたそうです。今回の講座でも、流暢な日本語を話され、参加者一同非常に驚きました。聞くところによると、日本語の講師も務めたこともあるとのこと。アンバーさんは、母語の台湾語をはじめ英語、日本語、スペイン語を自由に操るマルチ・スピーカーです。お爺様の影響で日本に興味を持ち、来日4回、長期滞在は今回で2度目だそうです。日本と台湾とオーストラリアを友好的に結びつけた話をしてくださり、とても良い有意義な時間を共有することができました。

アンバーさんのスピーチで非常に興味深かったことは、オーストラリアの多文化主義政策です。多民族・多文化の国オーストラリアは、1970年代はAssimilation(同化)を目指していましたが、その流れは、次第にIntegration(統合)を経て、現在では、Multiculturalism(多文化)へと変化したそうです。MulticulturalismにおけるTolerance(寛容)の重要性を、微笑みながら話してくれたアンバーさんの笑顔がとても印象的でした。

担当者の感想・成果と課題

・多文化共生社会を目指している茨城県において、ワールドキャラバンを通して県内の大勢の人々に、Toleranceの重要性を伝えてくださることでしょう。

今回のアンバーさんとの交流を通して、わたしたちメサフレンドシップ会員同士、多文化共生のための活動をさらに展開していこうという思いを再確認しました。

